

年間授業計画（シラバス）

教科・科目	国語・国語総合		単位数	4単位	履修学年	2年
目標	言葉を適切に表現するために、基礎的な語彙の習得・表現能力を養う。そして、伝え合う力を向上させる。国語を通じて思考力及び心情を豊かにする。文章を読み、他者に共感ができる能力を育む。また、日本文化に対する関心を深め、言語を尊重する態度を育てる。					
使用教材	使用教科書 高等学校 改訂版 標準国語総合 第一学習社・特別国語（本校作成・語彙力養成教材）					
評価の観点	（関心・意欲・態度）	（思考・判断）	（技能・表現）	（読む能力）	（知識・理解）	
	積極的に学習活動に参加する。授業での発問、提出物で評価する。	論理性と、心情を理解ができること。単元毎の小テストで評価する。	作文、短歌、俳句の作成に取り組めたか。作品の提出とともに内容を評価する。	目的に応じて文章を的確に読み取る。読んで、要約を行う小テストを実施。	語彙の知識および修辭の理解等ができたかどうか定期考査や語彙力を育成する。小テストも評価する。	
評価方法	定期考査および、各単元ごとに小テストを実施する。また、提出物は平常点として得点化し、評価する。					
学期	学習内容			学習のねらい		
1	現代文 詩 『道程』  現代文 小説 『夢十夜』  古文 随筆「仁和寺にある法師」 - 『徒然草』 随筆「神無月のころ」  佐佐木信綱顕彰会応募作品の作成  特別国語（本校が作成した語彙力養成教材）			・ 作品を音読させる。詩に表現された言葉の働きに留意し、表現上の特色を理解する。口語自由詩と文語定型詩について学習する。筆者高村光太郎についてレポートを提出する。  ・ 語句の意味を調べ、短文を作る。重要漢字の書き取りをおこなう。登場人物の心理の推移についてまとめる。筆者についてのレポートを提出させる。単元終了後、小テストを実施する。  ・ 筆者の意図を理解する。語句の意味を調べる。古典文法について学ぶ。（品詞の種類・形容詞・形容動詞。）  ・ 短歌は、提出物として評価し、顕彰会に応募する。  ・ 年間を通して取り組む。定期的に小テストを実施する。		
2	古文 和歌「万葉・古今・新古今」  古文 物語「東下り」 - 『伊勢物語』 物語「筒井筒」  漢文 漢詩「静夜思」 - 李白 「春 曉」 - 孟浩然 「春 望」 - 杜甫  俳句コンテスト（三重県主催）の応募作品作成  特別国語（本校が作成した語彙力養成教材）			・ 各歌集の特徴・和歌の修辭法について学ぶ。数首の和歌を暗記させる。小テストを実施する。  ・ 歌物語の特徴・古典文法について学ぶ。（助動詞を確認。）テストを実施する。  ・ 漢詩の詩型、修辭法について学ぶ。書き下し文に直す。作者について調べる。「春曉」を暗誦する。（小テストを実施。）作者の詩に表された思いを理解する。  ・ 提出された俳句は、提出物として評価し、その後俳句コンテストに応募する。  ・ 年間を通して取り組む。定期的に小テストを実施する。		
3	漢文 中国の思想『論語』  現代文 「表現の実践」  特別国語（本校が作成した語彙力養成教材）			・ 返り点の種類と用法、再読文字、助字について復習する。作品の音読を繰り返しおこなう。語句の意味を調べる。（漢和辞典の使用方法を学ぶ。）孔子の学問の内容と目的についてまとめる。（単元終了後小テストを実施する。）  ・ 適切な言葉遣いについて学ぶ。（尊敬表現・謙讓表現・丁寧表現）電話のかけ方、受け方について学ぶ。  ・ 年間を通して取り組む。定期的に小テストを実施する。		
学習上の留意点	・ 各学期、定期考査に加えて、小テストを実施し、単元ごとの理解を確認しながら授業を進めていく。不十分と判断される生徒に関しては、補習をおこなう。 ・ 週4時間の授業を、教科書による授業3時間、特別国語1時間に分け、平行しておこなう。					